



AEON

2016年3月8日
イオン株式会社

身近なお買物を通じて、岩手・宮城・福島県の子どもたちを支援

3/9(水)~11(金) 東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」実施

過去最大となる全国約4,700店舗で実施します

各地に甚大な被害をもたらした東日本大震災から、まもなく5年を迎えます。

イオンはこれまで、小売業はお客さまや地域社会の“くらしのライフラインである”という想いのもと、グループを挙げて被災地域の復旧・復興に向けたさまざまな取り組みを行ってきました。

震災から5年を目前に控える今、イオンは「にぎわい東北 — つなげよう、ふるさとのチカラ」という新たなテーマのもと、「復興支援」のステージから「地域（ふるさと）の創生」へと次の一步を踏み出します。

本テーマのもと、東北創生に向けてイオンが掲げる方針の一つ、「地域の未来を“ともにつくる”環境・社会貢献活動」の一環として、またくらしに身近な小売業ならではの取り組みとして、本年も3月9日（水）から11日（金）まで、岩手・宮城・福島の子どもたちを応援する「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施します。期間中、お客さまから専用ボックスに投函いただいたレシート合計金額の1%を、被災した子どもたちの「くらし」と「学び」を応援する3県の育英基金にイオンが寄付します。

本年は新たに「ミニストップ」や、九州や山口県に食品スーパーを展開する「レッドキャベツ」が加わり、過去最大となる4,700店舗のお買い上げレシートを通じて、子どもたちの健やかな成長を願う全国の皆さまの想いを東北にお届けします。

また震災から5年の節目を迎え、全国約7,800名のイオン チアーズクラブ（※）の子どもたちが、東北に向けての応援メッセージをクラブごとに寄せ書きし、ふだん活動を行っている「イオン」「イオンスタイル」など全国約440店舗にそれぞれ掲示します。

じぶんの買物でだれかを幸せにするしくみ。

イオン 幸せの黄色いレシート
since 2001

東北応援「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」概要

期 間：2016年3月9日（水）～11日（金）

実施店舗：全国約4,700カ所のグループ店舗

イオンリテール(株)、イオン北海道(株)、イオン九州(株)、イオン琉球(株)、(株)サンデー、(株)ダイエー、(株)ボンベルタ、イオンスーパーセンター(株)、イオンビッグ(株)、MV北海道(株)、MV東北(株)、MV東海(株)、MV中部(株)、MV西日本(株)、MV九州(株)、(株)クリエイト、(株)光洋、MV南東北(株)、MV関東(株)、MV長野(株)、MV北陸(株)、(株)マルナカ、(株)山陽マルナカ、イオンマーケット(株)、ミニストップ(株)、(株)レッドキャベツ、イオンモール(株)とイオンタウン(株)の各社専門店（一部店舗を除く）

※MVはマックスバリュの略称

寄付先：岩手県「いわての学び希望基金」

宮城県「東日本大震災みやぎこども育英募金」

福島県「東日本大震災ふくしまこども寄附金」

■「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」について

イオンは2001年より、毎月11日の「イオン・デー」に「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」を実施しています。お客さまに、応援したいと思う地域のボランティア団体のボックスにレシートを投函していただき、そのレシート合計金額の1%相当の品物をイオンからボランティア団体に寄付するものです。お客さまとともに地域を元気にする活動として、2014年度までにのべ約21万8,600団体へ総額24億9,400万円を超える品物を贈っています。

2012年からは、東北復興支援活動の一環として3月のキャンペーン期間を3日間に拡大し、被災地の子どもたちを応援する活動に寄付しています。2015年度は、岩手・宮城・福島の子ども育英基金に総額約8,346万円を贈りました。2015年度までに同キャンペーンを通じて被災地に贈られた累計寄付金額は、6億2,603万円にのぼります。



(※) イオンチアーズクラブ：公益財団法人イオンワンパーセントクラブの支援により、小学校1年生から中学校3年生までの子どもたちを対象に、環境に関する学習や体験の場を提供しています。地域の子どもたちが月に1回程度集まり、イオン各店舗の従業員のサポートのもと、6年を1サイクルとして、「ゴミ」「リサイクル」「資源(エネルギー)」「太陽と自然」「植物」「動物」をテーマにさまざまな活動に取り組んでいます。

ご参考

全国のお客さまとともに取り組む、イオンの東北支援の一例について

■「東北復興WAON」を通じて子どもたちを支援

2012年5月、ご利用金額の0.1%を岩手・宮城・福島3県の被災された子どもたちの「くらし」と「学び」を応援する育英基金に寄付する、「東北復興支援WAON」を発行しました。2014年度までに、計1,323万721円（岩手県395万3,922円、宮城県442万4,825円、福島県485万1,974円）を寄付しています。



■障がい者授産施設の整備や販売を支援する「障がい者ものづくり応援募金」

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは2012年より、東日本大震災で被災した障がい者がものづくりを行う施設（授産施設）の生産設備の整備と製品の販売を支援するため、全国で募金活動を行っています。認定NPO法人難民を助ける会を通じて、これまでに岩手、宮城、福島県の授産施設94カ所に対し支援を行っています。本年も2月10日（水）～3月13日（日）の期間、全国のイオングループ店舗にて募金のご協力をお願いかけています。



福島県いわき市の授産施設で
ドーナツをつくる方々



「障がい者ものづくり応援」
チャリティーバザー

■イオンファンタジー「ファンタジースマイルデー あそんで募金」

ファミリー向けアミューズメント施設を運営する株式会社イオンファンタジーは、毎月11日に「ファンタジースマイルデー あそんで募金」を実施しています。これは、施設にある対象ゲーム機で遊んでいただいた売上の10%相当金額を同社が寄付し、東日本大震災支援活動、子ども支援活動、環境保全活動に役立てていただくものです。毎年3月は3日間に拡大し、「いわての学び希望基金」「東日本大震災みやぎこども育英募金」「東日本大震災ふくしまこども寄附金」を通じて、東日本大震災の復興活動を支援しています。本年も3月9日（水）～11日（金）の期間で実施します。



東北創生に向けてのイオンの新たなテーマについて

「にぎわい東北 — つなげよう、ふるさとのチカラ」



東日本大震災から5年。

「復興」から次のステージの「成長・創生」へ。

イオンは“にぎわい”をテーマに、笑顔があふれる未来に向けて動き始めます。

東北の生産者の方々と東北のお客さまをつなぐ。

東北のチカラを、日本各地、世界各国の皆さまへとつなぐ。

地域のお客さまの想いを、未来の成長へとつなぐ。

ふるさとのチカラを、未来へ。世界へ。

イオンはこれからも、東北を起点に日本各地、さらには世界各国の皆さまと手をたずさえ、歩み続けてまいります。

東北の創生に向けた4つの方針

1. 事業を通じた地域産業の活性化
2. 雇用の創出と働きやすい環境づくり
3. 地域の未来を“ともにつくる”環境・社会貢献活動
4. 安全・安心にらせるまちづくり